

令和4年度分 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 子ども発達総合支援センター 保護者等数(児童数) 157人 回収数 66人 割合 42.0%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	97 (%)	3 (%)	0 (%)	0 (%)	◆施設もとてもキレイで、思いっきり体を動かす時は広い場所で、静かに集中すべき時は無駄な物が無い部屋で療育を受けられる、素晴らしい場所だと思っております。 ◆屋外ももう少し広々としていると良いなと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	89	7	2	2	◆一人ひとりに保育士さんがついてくださっていて細かく見てもらっています ◆先生の数には十分満足です。過去に別の療育に通っていた時は、「正直頼りないな。この人専門的な知識はあるのかな?」と、思う担当の方もいましたが、そだちの丘の先生方には誰一人そんな不信感を持つことはありませんでした。 とても頼りになる先生ばかりで、子供だけでなく、親側としても参考になるお話しをして下さり、感謝しております。 ◆訓練の予約が取りにくく、定期的に訓練が受けられない。特にSTは月に1回とれないことが多い。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	91	8	0	1	◆分かりやすいです。 ◆はじめに、今日の課題を説明してもらい活動ごとに写真を枠の中に入れるような構造化はされているが、いまいち活用されているように感じませんでした。 ◆部屋の場合ですが、棚は扉が閉めてあり、何も見えないし、机にも何もないので、何をするのか分からないと、すぐに嫌になって、先生の準備してもらった教材もなかなか出来なかった
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	97	3	0	0	◆バッチリです!
5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	95	3	0	2	◆いつも利用者に寄り添った、分かりやすい支援計画を作成してもらい、感謝しております。 ◆注意書きの文章の区切りが無くて分かりにくいです。ごめんなさい。 ◆現在松阪市子ども発達総合支援センターそだちの丘に通っていますが集団療育で教室の様子をマジックミラーの窓越しに見るように出来てますが窓が小さく集団療育だと交代で見なければならず教室の様子が見えづらい。衝突や怪我はしようがないがその時の様子を見れていないと保護者同士や先生と対策を話し合えない場合が何度かあった。一部はモニター室でテレビ越しに見れるようになってるので設備を増やすかマジックミラーの拡張をして欲しい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
適切な 支援の 提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	85	11	0	4	◆ほかのクラスの動きを見た時に他の子供達は進んでいるなど感じた。自分の子供のクラスはあのくらいまで支援してもらえないのだろうか、と支援の仕方に差を感じた。 また今の支援で子供にあっていのかどうかは適切である正しいと自分では判断できかねます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	92	3	0	5	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	86	9	0	5	◆飽きないように、また季節に合わせていろんな活動をしてきている。 ◆毎回の活動内容のどれにも理由があって、有意義な時間を過ごす事が出来ています。 ◆いまいち、支援の目的が不明確な部分も感じます。例えば砂遊びの時間がありましたが、感覚遊びなのかお友達との交流を目的としているのか…など。少しでもなんでこの活動をしているのか何を目的としているのかわかればなるほど！となるのですがあまり、活動に対してなるほど！と思う場面はありませんでした。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	53	9	14	24	
保護者への 説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95	2	0	3	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	96	2	2	0	
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	71	11	4	14	◆施設の方はちゃんと伝えてくれているのでメモを取るように気をつけます。いつもありがとうございます。 ◆ペアレントトレーニングで学んだ内容は、障害の有無関係無く、どんな子供にも有効だと感じました。 以前受けた性教育も、ペアレントトレーニングについても、通常ではここまで誰かに丁寧に教えてもらう機会はなかなか無い中、そだちの丘に通っているという事で、色々な知識を教えてもらえる機会を作って頂けて、お陰様で子供としっかり関われる子育てが出来ております。大切な事を沢山教えて頂き、感謝しております。 子育てに悩んでいる健常者の子供がいる友人にも、参考になれば、と学んだ事を伝えました。 ◆もっと充実させてもらいたい。 ◆3歳クラスでは母子同伴だったので先生方のサポートは強く感じたが4歳クラスから母子分離になってからはあまり感じない。4歳クラスから療育に通い出した保護者の方に3歳クラスで私が学んだ接し方を話して参考になったと言われた事もあるので母子分離になってからの事後報告でのヒアリングでは難しいように感じる。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題に ついて共通理解ができているか	91	9	0	0	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児 に関する助言等の支援が行われているか	86	12	2	0	◆世間話等にも付き合っていたが、そ だちの丘に通っていない別の兄弟の悩み にまで真摯に答えてもらったり、いつも 親切丁寧な対応をして頂いております。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援さ れているか	20	10	23	47	◆保護者交流の場はなかなか難しいの か、無いです。 ◆同じ園に通っている子供の友達も、そ だちの丘でお世話になった子が数名居ま す。 通っている途中で気付いた子もいれば、 終わりの方で通っていた事が分かったパ ターンもありました。 個人情報の関係で難しいとは思いますが、 療育を受けていることをオープンにし ても良い保護者だけでも、どこかで療 育に通っている事を知り合えると、同 園の同じような境遇の方とも気持ち的 にも支え合えたり出来るのでは無いの かな。と感じました。 又、集団療育に通っていると、同じク ラスの他の保護者の方とお話が出来たり して良かったです。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されているとと もに、子どもや保護者に周知・説明さ れ、相談や申入れをした際に迅速かつ適 切に対応されているか	85	12	0	3	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮がなされているか	91	9	0	0	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動 概要や行事予定、連絡体制等の情報や業 務に関する自己評価の結果を子どもや保 護者に対して発信されているか	73	6	1	20	
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されてい るか	91	3	0	6	
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニユアル、 感染症対応マニュアルを策定し、保 護者に周知・説明されているか。また、 発生を想定した訓練が実施されている か。	48	9	5	38	◆訓練は無かったです。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われている か	29	6	6	59	
	22 子どもは通所を楽しみにしているか	89	6	0	5	◆どこに行くよりも、そだちの丘に行く のを楽しみにしています。 ◆まだ喋らないので（わからない） ◆おかげさまで保育園に行く時よりも、 楽しみにしていました。 就学してからも行きたいと言っている程 です。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
満足度	23 事業所の支援に満足しているか	84	12	2	2	<p>◆親子ともに優しく接して下さって嬉しいです。</p> <p>◆我が子が発達障害かもしれない。と分かった時は、ショックでしたし、療育を勧められた時も始めは、そこまでしないといけないなんて...と正直心がついて行かない時もありました。</p> <p>しかし、そだちの丘に数年通い、発達障害は決して悲しいことでは無い。と確信出来ました。上の方にも同じことを記入しましたが、子供に発達の遅れが無かったら、そだちの丘には来れなかった。それまでは考えが及ばなかった、「時と場合によってその子にはどんな対処方法がベストなのか。」その部分をひと息ついて考えられる、心の余裕が出来ました。</p> <p>もしそだちの丘に通っていなければ、それを教えて下さった、こんなに素晴らしい先生方にも出会えなかったし、療育を通し、こんなに丁寧な育児の仕方を教えてもらうことなんて出来なかったんだな。と思うと、恐ろしいです。</p> <p>自分の人生観も、すごく変わりました。子供が自閉症で産まれてきてくれたことに感謝出来るほど、今は幸せです。最高に満足しています！ありがとうございます！</p> <p>◆融通が効きにくい</p> <p>◆感染症での待機期間等に、オンラインでの言語訓練等の対応をしてほしい。</p> <p>◆集団療育の際、保護者が子供達の様子を見る小窓の大きさと数が少なすぎて、様子を全員の保護者が見れない事が毎回ある。もっと小窓の数を増やすか、長く大きな窓を作って貰いたい。</p>

【今後の対応について】

(環境・体制整備)

- ・中庭は、お子さん一人ひとりに目が行き届き、安全に遊べる広さを想定しています。この園庭の活用のほか、散歩等を取り入れた屋外活動を引き続き行ってまいります。
- ・職員の配置については、令和5年度に新たに言語聴覚士（ST）を採用しました。今後も適正な人員配置に努め、必要とされる専門性を生かした療育・発達支援を図ってまいります。
- ・生活空間については、療育内容を適切に達成できるよう、課題に応じて空間を構造化し、お子さんが課題に集中しやすい環境づくりに努めています。

(適切な支援の提供)

- ・当センターでは、保護者の方にお話をお伺いし、お子さんの様子や発達などを踏まえ、多職種の職員により現段階での適切な療育・訓練内容を決定しており、療育開始後もその成長に応じ、随時療育内容を検討しています。そのため、保護者の方が希望される療育と職員間で検討した療育が必ずしも一致しないこともありますが、今後も、なぜこの療育・訓練を行うか、支援内容や支援目的について職員の協議結果による方針を、保護者の方により丁寧にわかりやすく説明してまいります。
- ・その日の訓練のねらいや課題については、療育前の説明、療育後のフィードバックで、保護者の方にしっかりと伝わるよう努めてまいります。また、療育中にお子さんがけがをした場合も、怪我をするに至った経緯やその際の状況を説明させていただきますので、ご不明な点など、行き届かないところがあれば、その都度お声がけください。

(保護者への説明等)

- ・ペアレントトレーニングについては、対象者や実施回数を拡充し、お子さんの特性等の状況に応じて実施形態を検討するなど、家族支援をより強化していきます。
- ・保護者同士の連携については、ペアレントトレーニング等、家族支援を強化する中で、同じような困りごとをもつ保護者の方がつながり、その思いや希望、悩みが共有できていくよう努めます。また、引き続き、特別支援学校の見学会を主催して就学前の保護者の方の相談を受けたり、先輩の保護者からアドバイスをもらう取り組み、保護者向けの講演会の開催等も行ってまいります。

(非常時等の対応)

- ・非常時の避難訓練は、年2回職員のみが参加して実施しています。非常時に利用者や保護者の方を安全に避難誘導できるよう、職員の配置や避難経路の徹底等を強化するとともに、災害発生時の行動、避難経路等について、よりわかりやすい周知徹底に努めてまいります。

(満足度)

- ・集団療育時にお子さんの様子をご覧いただく方法として、現在、別室でのモニター越しの見学と、療育中の部屋の外側に設置された小窓からの見学があります。構造上、モニター室は1室のため、ご不便をおかけしますが、ご理解ください。